

地域イノベーション戦略推進地域 とくしま「健幸」イノベーション構想推進地域 (国際競争力強化地域) 終了評価結果

(1) 地域イノベーション戦略の概要

○イノベーション推進協議会：とくしま「健幸」イノベーション推進協議会

○総合調整機関：公益財団法人とくしま産業振興機構

○協議会構成機関：

【産】：大塚製薬株式会社、地方独立行政法人徳島県鳴門病院、徳島県商工会議所連合会、徳島県商工会連合会、徳島県中小企業団体中央会

【学】：国立大学法人徳島大学、学校法人村崎学園徳島文理大学

【官】：徳島県、公益財団法人とくしま産業振興機構

【金】：株式会社阿波銀行、株式会社徳島銀行

○地域イノベーション戦略のテーマ：

徳島糖尿病研究開発イノベーションの創出による糖尿病克服と健康・長寿社会の実現

○地域イノベーション戦略の概要：

糖尿病という「徳島ならではの」の研究シーズと産業ポテンシャル等を生かし「産学官金」が連携したイノベーション・エコシステムを構築・運用して、持続的な地域イノベーションを創出、世界からヒト・モノ・カネが集まる「糖尿病克服先進地域」の形成を加速させることにより、糖尿病の克服を通じた健康長寿社会の実現と、新産業創出による地域経済の活性化を図る。

(2) 総評（総合評価：A）

徳島地域は、糖尿病死亡率ワースト1位からの脱却に向けて「糖尿病対策」を中心課題とした取り組みを実施してきた。医学的な研究を進めるとともに「みんなでつくろう！健康とくしま県民会議」への協力など、民間資金の導入や企業参画だけでなく、地域に根ざした多面的な取り組みを行ってきている点が評価できる。また、医療介護情報連携ネットワークの「阿波あいネット」によるデータベース化は大いに期待するところである。一方、国際的な活動に関しては、研究者主体の連携に留まっているようにも見られ、より体系的な方針の確立と対応をとくしま「健幸」イノベーション推進協議会に期待したい。